

福岡アジア美術館の魅力向上に関する有識者会議 次第

第2回

日 時： 令和6年8月1日(木) 14時 00 分～

場 所： 福岡アジア美術館 8階会議室

－ 次 第 －

1. 事務局より挨拶

2. 議事

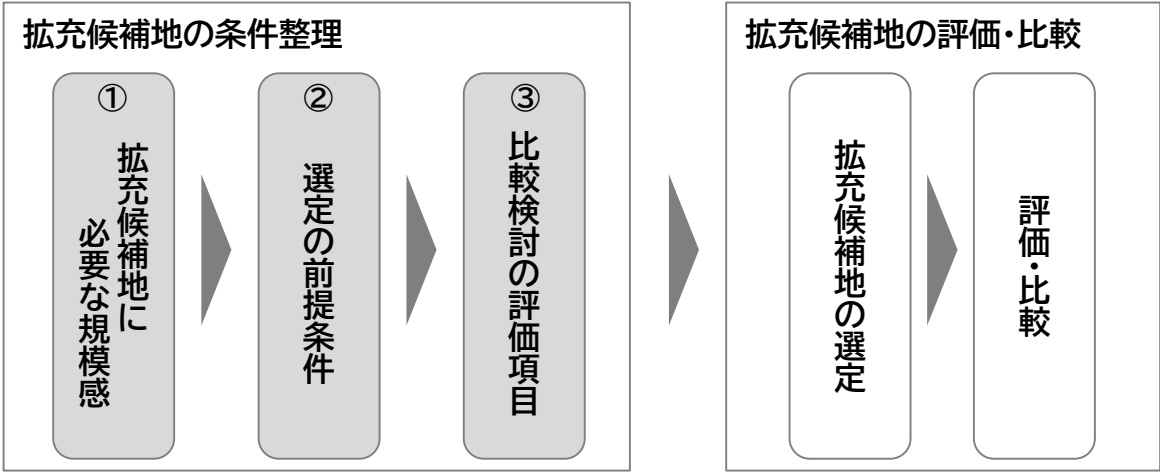
・拡充候補地の条件整理

3. 意見交換

< 配付資料 >

資料Ⅰ 第2回「アジア美術館の魅力向上に関する有識者会議」資料

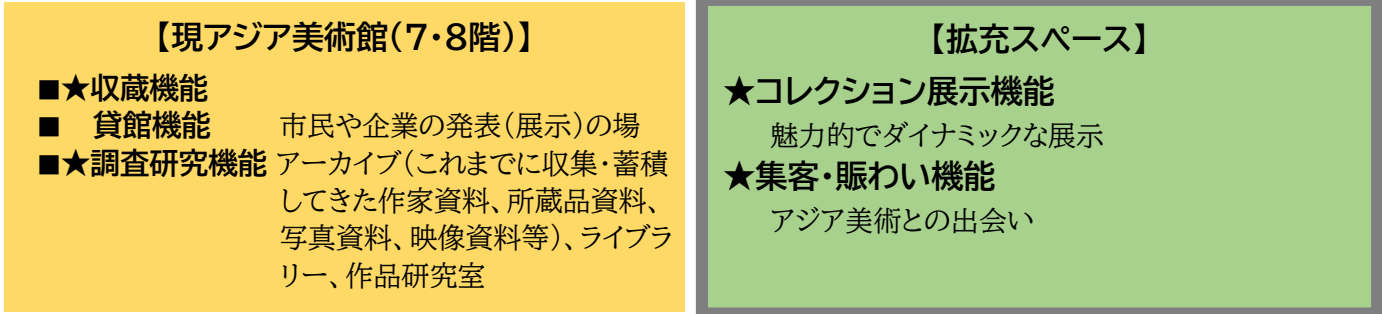
■ 拡充候補地選定の進め方



1. 拡充候補地に必要な規模感

拡充候補地を検討するために、必要な規模感を想定する。拡充候補地に設けたい、「コレクション展示機能」及び「集客・賑わい機能」に必要となるスペース、並びにそれに伴う「共用・管理スペース」を既存の国内美術館の事例等を参考に以下のとおり設定する(一つのモデルとして想定を行ったものであり、詳細な施設規模については今後検討を行う)

主な機能分担のイメージ



★特に拡充する機能 / ■既存の機能

※第1回有識者会議より

項 目	内 容	面 積(㎡)
★コレクション展示機能 (展示室)	近年整備された公立美術館(大分県立美術館、富山県立美術館、鳥取県立美術館)の事例を参考とした展示室の面積	2,000 ～ 2,500
★集客・賑わい機能	近年整備された公立美術館(大分県立美術館、富山県立美術館、鳥取県立美術館)の事例を参考としたカフェやショップ、パブリックスペースの面積	1,000 ～ 2,000

上記に加え、美術館として必要な共用スペース・管理スペース約4,500㎡を加え、以下のとおり施設規模感を想定

床面積規模の想定 約7,500～9,000㎡程度
展示室の高さの想定 約4～5m以上

2. 拡充候補地選定の前提条件

(1)現在の博多リバレイン内での拡充について

現アジア美術館の課題を解決し、魅力向上を図るには、地上からのアクセスに優れた低層階での展開が望ましいため、まずは現在の建物での配置について検討を行う

- <結 果> 想定しているまとまった規模の整形な展示室を確保することは極めて困難である
- <理 由> リバレイン低層階は、商業施設、複合施設という性格上、フロア中央部のエスカレーターや屋内通路等の共用部が多い。商業施設、複合施設としての導線を確保しながら、美術館として必要なロビーや作品搬出入通路などの共用・管理スペースを確保したうえで、想定する展示室の確保が極めて困難なため

博多リバレイン内での拡充の検討は極めて困難であるため、他の候補地での検討を行う

(2)拡充候補地選定の前提条件

- ① 候補地の状態について
計画のしやすさや、土地取得の可能性の高さといった、実現可能性の観点から、公有地を優先とし、空地や活用の可能性が見込める予定の場所等であること
- ② 候補地の規模について
左記で想定した規模を確保可能な土地とする
→ 床面積規模の想定 約7,500～9,000㎡程度
→ 展示室の高さの想定 約4～5m以上
- ③ 候補地が位置するエリアについて
下記の視点を元に望まれるエリアを検討する

○基本理念(「まち」の中のライブな美術館、都心型美術館)を体现できる

- ・都心部に位置する場所、周辺施設(商業施設、オフィスなど)が充実している場所
- ・時代を先取りする、最先端の文化発信にふさわしい場所

<福岡アジア美術館の基本理念(抜粋)>

「まち」の中のライブな美術館

福岡アジア美術館は、福岡と博多の「まち」のエネルギーがうずまく都心にあります。この「まち」に生きる人々が、アジア美術を通してアジアの「いま」へ最短距離でアクセスできる都心型の美術館です。また、アジアの美術作家たちも、「まち」特有の場所や表現方法を活かして、「まち」を生きる人々へとアプローチしていきます

○気軽に立ち寄れ、より多くの、多様な集客が見込める

- ・交通アクセスが良く、人流が多い場所
- ・市民を中心とした、オフィスワーカーや買い物客など幅広い目的を持った人々が集まる場所

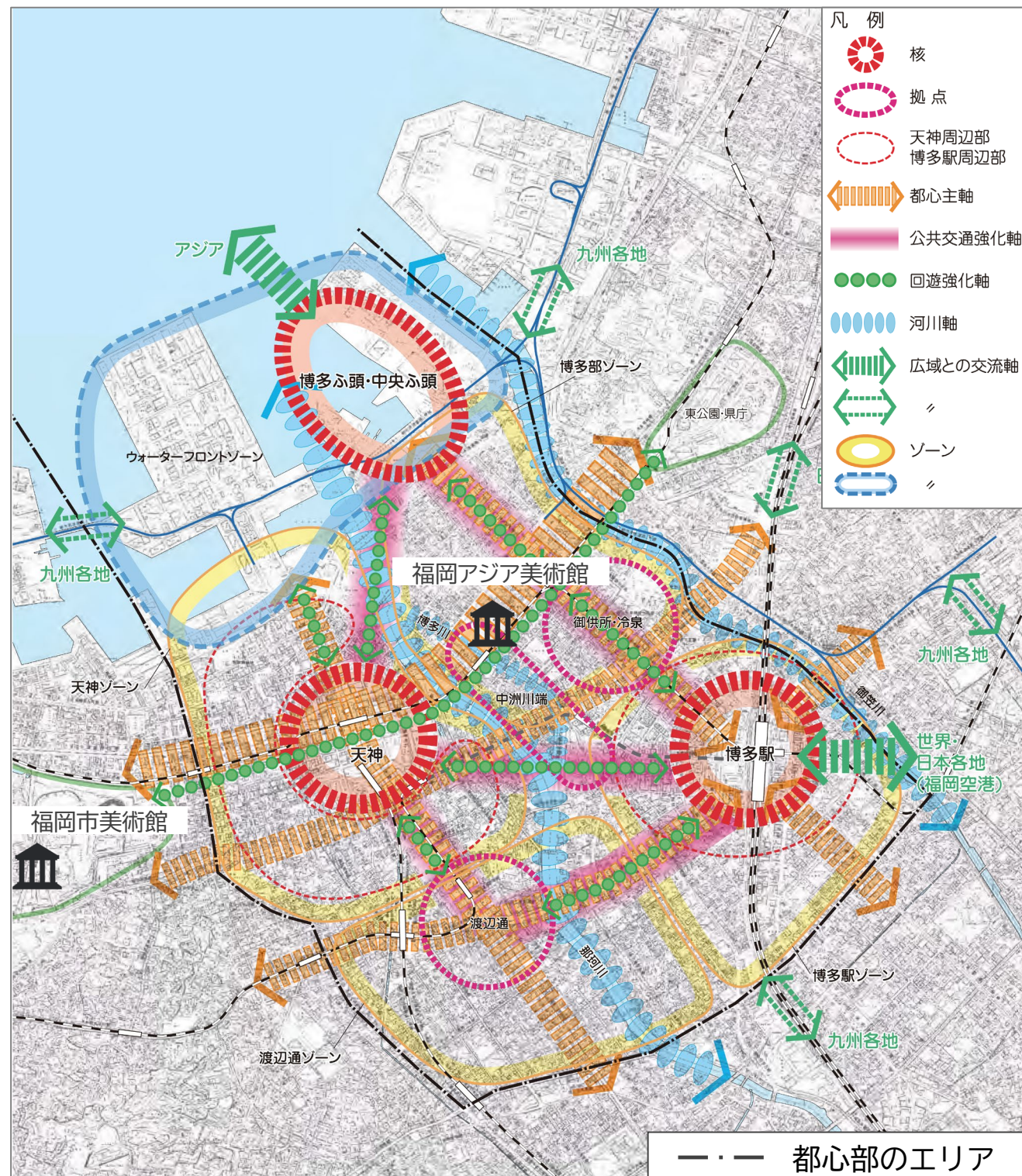
○美術館の特徴が最大限発揮できる

- ・美術館が「福岡の顔」として存在感を示す場所
- ・周辺施設と連携し、アート、文化観光の核として展開できる場所

→ 都心部に位置する土地であること

(2) 拡充候補地選定の前提条件（つづき）

＜福岡市都市計画マスタープラン（H26.5）＞
都心部の将来の都市構造（都心部編より）



3. 拡充候補地の比較検討の評価項目

今後は、前述の前提条件を踏まえ、さらにアクセスや都市機能の集積、土地の面積などの観点で選定に向けた条件を絞り込みながら拡充候補地を選定し、以下に示す、土地の状況・活用性、利便性、経済性等の観点から評価項目を設定し、拡充候補地の評価・比較を行う

大項目	小項目	評価の内容・視点
土地の状況・活用性	土地の規制状況	都市計画で指定された用途地域の制限、建蔽率、容積率、その他の法律等に基づく制限等
	整備の実現性	早期の整備実現可能性（土地取得可能時期など）
美術館活動	美術館の魅力向上	芸術文化、文化観光の象徴的な施設としての展開可能性
	地域連携	周辺施設（商業、業務機能等）、文化的施設（文化施設、ギャラリー等）との連携など、アート、文化観光の核としての展開可能性
利便性	広域からのアクセス	主要駅（博多駅、空港駅、天神駅）からの到達時間
	交通アクセス	最寄りの公共交通機関（電車、バス）までの到達時間/数
集客性	歩行者交通量	より多くの、多様な集客が昼夜ともに見込めるかどうか
	最寄りの公共交通機関の乗降客数	より多くの集客が見込めるかどうか
安全性	安全安心	災害等のリスクへの対策可否
経済性	土地取得費	各土地の路線価等により概算
	建設工事費	改修工事、造成工事の必要性など各土地の状況も加味し概算